

◆ 研究部の人事異動

- ◆ 研究部教員の着任(10月1日付)
 - ・大石侑香 [学術資源研究開発センター・特任助教] 専門は社会人類学。シベリアのトナカイ牧畜や漁撈、キツネ・ミンク飼育といった生業文化について研究しています。
- ◆ 拠点研究員の着任(11月1日付)
 - ・田中鉄也 [南アジア拠点] 専門は宗教学。北インドの寺院調査を通じて、宗教と公共性、さらには宗教と法とのかかわりの変容について研究しています。

◆ 受章

- ◆ 杉田繁治名誉教授「瑞宝中綬章」受章(2018年11月3日)

◆ シンポジウム等

- ◆ みんな公開講演会「音楽から考える共生社会」
日程：2018年11月2日(金) 場所：日経ホール
主催：国立民族学博物館、日本経済新聞社
- ◆ 公開フォーラム「世界の博物館2018」
日程：2018年11月3日(土・祝) 場所：国立民族学博物館
主催：国立民族学博物館、独立行政法人国際協力機構
- ◆ シンポジウム「バスケットリーと人類」
日程：2018年11月3日(土・祝) 場所：国立民族学博物館
主催：大阪日本民芸館、新学術領域研究(パレオアジア文化史学)「人類集団の拡散と定着にともなう文化・行動変化の文化人類学的モデル構築」
- ◆ 第34回人文機構シンポジウム 国際シンポジウム「市民とともに地域を学ぶ—日本と台湾にみる地域文化の活用術」
日程：2018年11月10日(土) 場所：TEPIAホール
主催：大学共同利用機関法人人間文化研究機構
後援：文部科学省、日本博物館協会、日本台湾交流協会、朝日新聞社、毎日新聞社、産経新聞社
- ◆ 国際シンポジウム「世界の捕鯨と捕鯨問題」
日程：2018年11月30日(金)～12月2日(日) 場所：国立民族学博物館
- ◆ 講演会「台湾客家と日本客家」
日程：2018年12月14日(金) 場所：国立民族学博物館
- ◆ 国際シンポジウム「客家エスニシティとグローバル現象—華僑華人の拡がりと現在」
日程：2018年12月15日(土)～16日(日) 場所：国立民族学博物館
- ◆ 日本アンデス調査60周年記念シンポジウム「アンデス文明の成り立ちを追って—日本調査団の継承と発展」
日程：2018年12月22日(土) 場所：東京大学伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール
主催：アンデス考古学調査60周年記念事業実行委員会、山形大学
共催：国立民族学博物館
協力：古代アメリカ学会、山形大学ナスカ研究所、アンデス文明研究会、一般社団法人希有の会、埼玉県ペルー友好協会

◆ 刊行物

- 『ストリートの精霊たち』
川瀬慈著、2018年4月、世界思想社。
- 『はじめて学ぶ文化人類学—人物・古典・名著からの誘い』
岸上伸啓編著、2018年4月、ミネルヴァ書房。
- Research and Activism among the Kalahari San Today: Ideals, Challenges, and Debates* (SES 99).
R. Fleming Puckett and Kazunobu Ikeya (eds.), Jul. 2018, National Museum of Ethnology.
- 『「ホーホー」の詩、それから—知の育て方』
信田敏宏著、2018年10月、出窓社。

訂正

- 『民博通信 162号』p.10 基幹研究の名称
誤：文明社会における食の布置(「アジアにおけるエコヘルズ研究の新展開」内のユニット)
正：台湾および周辺島嶼生態環境における物質文化の生態学的適応